

特定外来生物の分布状況 2010

日 時： 2010年 3月15日(月) 15:00-17:00

会 場： 東京大学教養学部 駒場キャンパス 5号館 525教室（日本生態学会 B会場）

アクセス： 京王井の頭線 駒場東大前 徒歩5分

参加費： 無料（市民の方も、どなたでも参加できます。予約は不要です）

外来生物法で指定された特に重要な特定外来生物の、現在の時点での分布拡大の状況を確認します。2010年は外来生物法の運用が開始してから5年が経過し、また生物多様性条約のCOP10が名古屋で開かれる年に当たります。

外来生物の現在の分布拡大状況を知ることで、未分布地への持ち込みを避けたり、予想される被害に対して事前に準備することが可能となり、また情報そのものは人々への注意喚起になります。何をすれば分布状況を効率的に把握し、拡大を抑えることができるのか、アイデアを出し合いたいと思います。

- **特定外来生物の分布情報の収集と公開について** 宇賀神 知則，環境省
- **植 物** 角野康郎，神戸大学
- **鳥 類** 山本 裕，日本野鳥の会
- **哺乳類** 常田邦彦，自然環境研究センター
- **魚 類** 中井克樹，琵琶湖博物館
- **カミツキガメと両棲爬虫類** 小林頼太，東京大学
- **シグナルザリガニと甲殻類** 西川 潮，新潟大学
- **カワヒバリガイなど** 伊藤健二，農業環境技術研究所
- **セアカゴケグモ，アルゼンチンアリと節足動物** 五箇公一，国立環境研究所
- **セイヨウオオマルハナバチ** 横山 潤，山形大学
- 総合討論

主催： 外来生物分布拡大予報研究会，横浜国立大学 GCOE「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」

共催： 生物多様性 JAPAN

問合先： 小池文人（外来生物分布拡大予報研究会），koikef@ynu.ac.jp，045-339-4356

<http://vege1.kan.ynu.ac.jp/forecast/>

